

コンクール 敬称略

■第22回京都芸術祭 イタリア～
日本音楽の架け橋 音楽部門 コミュニティ賞 フルーツアンサンブル「SAKURAjeune」コンサートマスター・平岡洋子講師、安藤真子(03年大卒)、石井陽子(07年大卒)、長谷川美聡(08年大卒)、松林靖子(98年大卒)、山下久美子(03年大卒)、内宮千尋(06年短卒)、河合佑美(01年



戸田恵



前列左から長谷川美聡、松林靖子、平岡洋子講師、川端裕美、河合佑美、後列左から内宮千尋、石井陽子、碩ゆかり、安藤真子、山下久美子、井上明子

短卒)、川端裕美(98年短卒)、碩ゆかり(99年短卒)、井上明子(客演、86年大卒・打楽器)=イタリア・アルパ音楽祭での演奏を評価。12月23日、京都芸術祭実行委員会主催

■第27回滋賀県ピアノコンクール本選 学生・一般の部 2位(1位なし) 戸田恵(大3・ピアノ)=1月25日、しが県民芸術創造館ホール。滋賀県文化振興事業団主催

■第29回来音会ピアノコンクール F級部門 銀賞 金岡宏美(大3・ピアノ)=3月26日、池田市民文化会館。来音会主催

《注》学年は受賞当時

いものも多く、音楽と人類のかかわりを知るためには貴重な資料。各地の博物館からも貸し出し依頼があるほどです。

その一つ、牛の鳴き声をするスペインの摩擦太鼓「サンボンバ」(写真①)。同種の太鼓はヨーロッパ全域で使われていて、クリスマスから新年にかけて豊年を祈るキヤロルの伴奏に登場します。「サ

「楽器を持った人形は奏法、奏者の性別や職業、合奏時の編成など、楽器自体にはない情報を提供してくれる貴重な資料」と西岡さん。音楽博物館では燻蒸作業などが終わり次第、順次公開する予定。

西岡信雄名誉教授
現地調査20余年

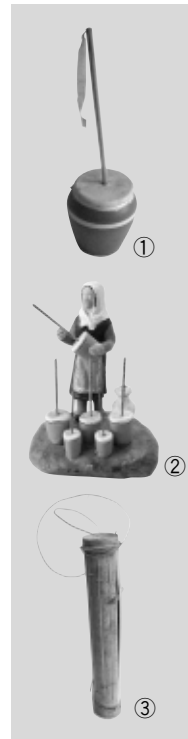
西岡信雄名誉教授(前理事長)が4月30日、世界の楽器や楽器を持った人形など計3050点を音楽博物館に寄贈しました。これらの楽器の中には手に入らな

音楽博物館へ

楽器、人形3050点寄贈

に取り組み、この二十数年間に訪れた国は約40カ国。手に入れた楽器は1494点、楽器を持った人形599群、1615点にのぼっています。今回はこの中から第一期分として楽器1450点と人形1600点が寄贈されました。

「サンボンバを売る人形」(②)からその奏法を知ることができます。東マレーシアのカタザン族に伝わる「トクンゴン」(③)は最も原始的なコト。弦と胴が一体の竹でできており、今も祭りなどで使われているそうです。



被爆ピアノコンサート



山田紗耶加さん
8月1日に大阪で

よみがえりました。コンサートは14時間演。絵本「ミサコの被爆ピアノ」(松谷みよ子作)の朗読や山田さんのピアノ演奏などがあります。曲目は「綿のぼうし」「エリーゼのため」「崖の上のポニョ」「千の風になつて」など。会場ではフリージャーナリスト、西谷文和さんの「イラクの子どもの写真展」も開催します。「平和と国際児童文学館の存続を願い、心をこめて演奏します」と山田さん。

広島「被爆ピアノ」に捧げるため自ら作曲した「綿のぼうし」を携え各地で演奏会を開いている山田紗耶加さん(79年短大卒・音楽専攻)が8月1日、大阪府立国際児童文学館(吹田市千里万博公園内)で夏休み企画「被爆ピアノ平和コンサート」を開きます。

64年前の原爆投下で灼熱を浴びた被爆ピアノは、4年前に再生された「魂の音色」として奇跡的に

先着150人。入場無料(整理券必要)。問い合わせ、申し込みは FAX 072-736-1547

メール hibakupiano@yahoo.co.jp